

会報

みどりのひろば

発行

第40号

平成28年3月

平成28年3月現在

336団体

公園緑地愛護会報 / 前橋市公園緑地愛護会連合会

前橋市公園管理事務所
 前橋市六供町 1420
 TEL 225-2116
 FAX 225-2117

公園愛護会連合会員の皆様健やかに新年を迎えられました事とお慶び申し上げます。

いつも公園活動又公園愛護会の事業を通し、都市緑地化推進に多大なご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の十一月、愛護会連合会の会長を務めていただいた立見悟様の突然のご逝去の悲報を受け、大変心痛の思いでいっぱいです。立見会長が就任された当時は二八二愛護団体でしたが、旧大胡町、粕川村、宮城村、富士見村が前橋市に合併となり、現在は三三六愛護団体と大きく増え、他の市町村に比べても大きい愛護会連合会になったと思います。

立見会長様は、持ち前のスマイルと温厚で人望の厚い会長でした。長い間大変有り難うございました。心より感謝のお礼と、立見様のご冥福をお祈り申し上げます。



ご挨拶

会長職務代理 井上 廣志

私は副会長の中で一番長く役員を続けており、昨年十一月の視察研修時に立見会長が参加出来なかったため、職務代理をまかされましたが、職務に復帰することなく会長がご逝去されたために、二八年の次回役員改選まで会則第六条五項に依り暫定で会長職務の代理を務めてほしいと公園管理事務所よりお話しがあり、会長職務代理を引き受ける事となりました。今回の役員改選で、人望のある方で、リーダーシップの取れる適任者を選んで戴きたいと思えます。宜敷くお願い申し上げます。

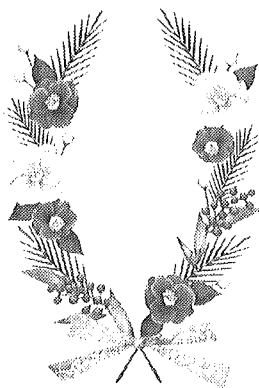
さて昨年も公園愛護会の視察研修を十一月五日、六日の二日間、会員の方と事務局員合わせて三十四名の方が参加をしていただき、静岡県静岡市の駿府城公園と浜松市のはままつフラワーパークを研修して参りました。

駿府城公園は、徳川家康の居城と言うだけに素晴らしい庭園が有

りました。全部廻る事が出来ませんでした。四ヶ所庭園が作られており、「里の庭」「海の庭」「山里の庭」「山の庭」と四季折々庭を楽しむ事が出来るそうです。

はままつフラワーパークでは、十一月とは言え、二メートル以上の丈で花を咲かせると言う菊の花と対面し、作り方など熱心に質問している人も居ました。温室でも南国の花や樹木を見て廻り大変参考になり有意義な研修でした。

今後多くの会員の皆様が研修に参加下さいます様お願い致します。又、公園管理に付きましても多大なご尽力賜ります様お願い申し上げます。



みどりの愛護

ひよん公園愛護会

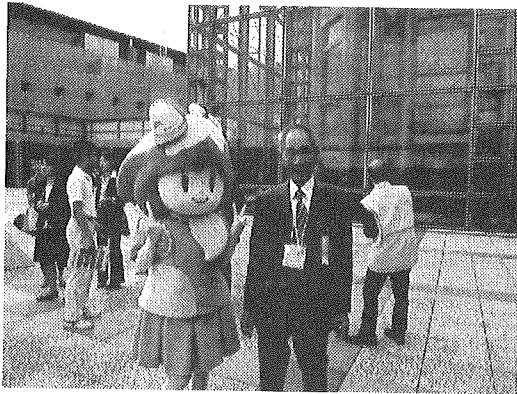
会長 春山 政三

始めに、昨年、宮崎県宮崎市で開催されました第二十六回、功労者国土交通大臣表彰につきまして、群馬県で唯一受賞させていただき、公園管理事務所及び関係者の方々にお礼を申し上げます。

本会は平成二年に日吉町四丁目自治会で結成しました。春にはさくらが見事に咲き誇り、花見をする人で賑わい、夏は納涼祭が開かれ、地域の人達が集まります。週に二回、老人会のランドゴルフ等で使用したりと、多くの住民に親しまれている公園です。これからも親しまれる公園に維持、管理に努めていきたいと思っています。



栃木県代表
群馬県代表
東京都代表



大島公園愛護会活動

大島公園愛護会

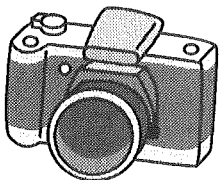
会長 関口 香太郎

大島公園はJR前橋大島駅の南口前広場の西に隣接し、野球も出来る広さがあります。園内周囲は、サクラ、カシ、ケヤキ、ヒマラヤ杉等の木々に囲まれ、その間に花壇があり、ランドに緑の芝生が植えられています。

は、どうやっていいのか②この仕事は、まったくのボランティアだと思えますがやっていて楽しいことは？と質問されました。①は先述したとおりですが、②には、やはり家族連れの皆さんや、小さな子供たちから大人達まで、緑の芝生で楽しそうに遊んでいる様子を見ることが出来るのが挙げられます。

無論、樹木から花壇さらに芝に至るまで放置すれば雑草は生え放題で荒れます。従って手入れを欠かせません。これらの芝刈を始めとする全ての手入れ作業を公園でランドゴルフを楽しんでおられる三十名位の方が進んで実行して下さいておられます。芝刈りは公園が出来たての時は手作業でしたが、今は車につけて楽々で行えるようになりました。とは言え五月から十月初旬まで芝の伸びは早く、七日から十日に一度位芝刈をしております。

昨年の暮れ、自治会新聞の記者からインタビューを受け、①この公園は大変広くて、大きな木も多いので芝生や落ち葉の手入れ

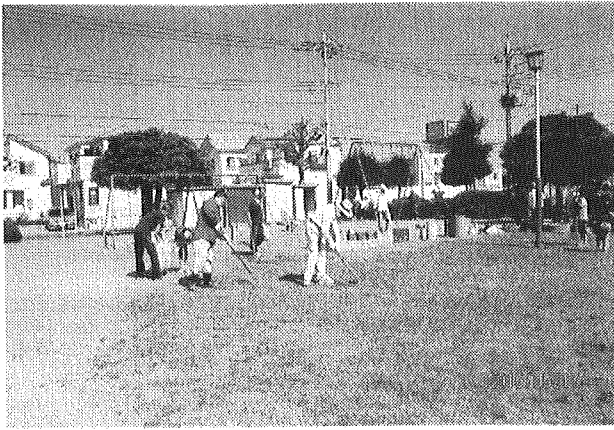


つくし公園活動報告

つくし公園愛護会

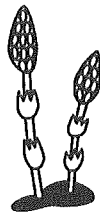
会員 高山 寿美子

つくし公園は、NHK前橋支局前の交差点から至近に位置します。交通量の多い高前バイパスの喧騒からは想像できないほど静かで、のどかな公園です。乳幼児と遊ぶ母親、ブランコで遊ぶ小学生、サッカーやキャッチボールをする



親子、ヨガを楽しむ御婦人、グラウンドゴルフの練習に励む老人会の方達の明るい声がいつも聴こえています。

このように皆に愛され利用される心地よい公園の環境を保つために自治会主催の清掃活動が定期的に行われています。住民の協力により夏には雑草が、秋には落葉が一掃されます。樹木の剪定を申し出てくださる方もあり、木々が美しく生まれ変わります。自治会員



公園緑地愛護会

会長になって

緑が丘町公園愛護会

会長 宇田 幸一

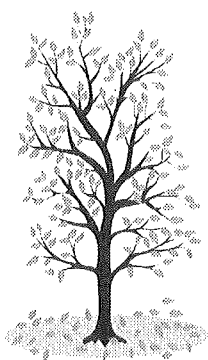
私は今年（二七年度）緑が丘町の自治会会長になり、同時に愛護会の会長にもなりました。

公園の管理もこれまた大変です。年三回の除草、年末には落葉拾い、花壇には種蒔き、球根を植えたりで環境美化に努めています。

三年ぶりに樹木の伐採をお願いし、園内が見通しが良く、明るくなりました。

お陰様で児童の監視、犯罪の予防にもなると喜ばれています。

高齢者のゲートボウルの憩いの場所にもなり、安心、安全で楽しい、憩いの場所で町内の絆を培っております。





人と環境に優しい町づくり・ 花と緑の美化運動・きらり 輝く協同の町づくり事業



鶴が谷町公園愛護会

会長 真下 功

愛護会員・「私の花壇」の皆様からの一言

*先人たちの良き活動内容を継承し、新しいことにチャレンジしていきたいと思います。

会長 真下 功

*花を愛する会員に守られ、去年も花壇に、四季それぞれの花が咲き町民の皆様楽しんでいただきました。仲間と花作りに頑張ります。

茂木さん

*町内の皆様からは、愛護会活動は、大変評価していただいておりますが、会員の高齢化と会員の参加者少なく打開策が見つかっていません。・時間をかけて一歩一歩進めるしかない?。市内の愛護会活動はどうでしょう?

大沢さん

*子供のころ母が花好きで庭いっぱい植えておりました。その影響もあり草花や樹木が好きで平成十七年当町愛護会に入会、現在に至っています。植物をただ植えているのではなく、そこにある希望や美しさを感じた時に感動し喜んでくれたり、楽しんでくれたり、見る人の人生を豊かにします。美しい花が咲けばだれかに見せたいと思うそんな気持ち広がっていつて、町がどんどん美しくなっていく、自然や環境に自ずと関心が向かうのではないかと思います。町にもっと花と緑を念に、活動の輪を広げていきたいです。

菊池さん

*愛護会活動を通して皆様に憩いの場公園・花壇を目指して行きます。

Dさん

*童話「チューリップ」を作曲した(前橋出身作曲家井上武士)

に、ふさわしいチューリップの花壇三ヶ所に、咲いていますよ。

Kさん

*昨年、公園管理事務所よりプランコ(二基)その他の遊具を増設したことで、子どもたちが遊びに来るのが増えたように思います。

Eさん

*鶴が谷町中央に走る南北の道路両脇のイチヨウ並木、美しいですね。

Aさん

*愛護会には、「私の花壇」お花の好きな方の集まりがあり、宮川花壇ロードに、春・秋とお花を植えています。きれいに咲いていますよ。見に来てね

Cさん

*子どもと一緒に、四季を通して色々なお花を植えています。水やり草むしりなど子供も楽しんでます。

Tさん

*宮川花壇ロード町内の人を通る時に「きれいなね」と、喜んでい

ただけるようにこれからもお花いっぱい美しい町になるように協力していきたいと思います。

Bさん

*お花が一ぴの、きれいな町になればと参加しました。

Mさん

これからも公園・花壇を見守って行きたいと思います。

愛護会一同





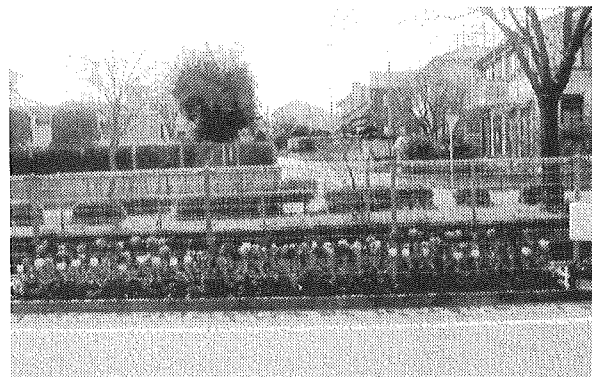
遊具増設後に



町内中央道路 南から写し奥に赤城山が



人気者 こうちゃんです。



6m × 70cm チューリップ花壇 3ヶ所

鶴が谷公園のスナップ

公園の姿



明神東公園

会長 伊藤 正美

公園とは、人々の憩いの場として設けられ庭園や遊具などを置き自然保護やレクリエーションの場として定められた広地域のことと記されている。

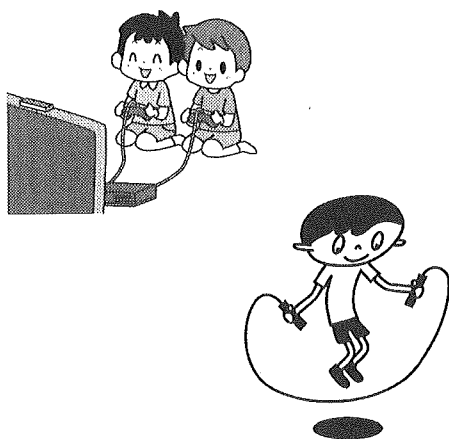
戦後生まれの我々が幼いころ遊んだ唯一の場所といえば道路、路地、野原等そんな場所、ビー玉やかくれんぼ、鬼ごっこや縄跳びなどをしていた。

それが昭和三十年後半位から高度成長期に入り、世の中は車社会に変わり区画整理に伴って広い道路、公園が各々の町に作られ始めた。

昭和四十年頃公園に行くとき必ず何人かの子供達がいて日の暮れる頃まで走り回り遊んでいたの思い出される。しかし、今公園に行っても子ども達だけが遊ぶ姿はほとんど無く、親に手を引かれた子供達や散歩をする人がほとんどである。子供達は授業が終わっても夕方一斉に下校して帰宅後は外出は許されずすぐお稽古事や塾、ゲー

ムと時間に追われ公園で遊ぶ時間が無いのが事実である。老人たちはテレビを見て各々の趣味に興じている。

戦後七十年平和が続いている現代の娯楽も多様化してきた。公園は利用観賞の単なる憩いの場だけでなく、将来に起こりうるかもしれない災害のための避難場所としての機能を持つことが望まれる。それと同時に、地域社会の中で共存する人達が、本気でコミュニケーションの和を育み、安心、安全の基盤を構築したその時こそ公園としての魅力、機能が活かされ、そこで生活する人達の無くてはならない憩いの場所になり得るのではないだろうか。今こそ将来を見据えた自然との共存の中で、人と公園の姿が見えてくるような気がする。



公園清掃活動報告と課題

荒牧中央公園愛護会

会長 小泉 勲

中荒牧地区住民が清掃を担当する公園は、荒牧町では一番広い公園で、野球場と児童公園と全体を囲む植込みの三つの部分よりなります。野球場は、少年野球チームとゲートボール愛好会が担当します。児童公園と植込みは、中荒牧地区の住民の担当です。世帯数は約四九十九世帯で、二八の組にグループ化されています。

清掃活動は、五月から十一月まで、原則第一日曜日の七時から四十五分程度となっています。良い意味での競争心を起こしてもらうために参加者名をその都度、参加者一覧表に記入してもらっています。集計して年一回回覧で報告しています。

一年間の参加者総数は千人を少し越える程度で、参加者数は組ごとに大きく異なっていますが、ゼロの組もあれば八割を越える組もあります。出るゴミの量は四五リットルのゴミ袋で四五袋前後です。

課題は種々で、高齢者世帯の増加に伴う参加数の減少、除草剤散布、花壇の管理の難しさ、地区内の道路沿いの雑草の始末、等々です。



松前公園の管理活用について

文一松前公園愛護会

会員 成田 隆憲

天川地区にある文京町一丁目自治会で維持管理する松前公園は、自治会館にごく近く、自治会エリアが西から東へプロムナード状に広がる要の位置にあります。公園の清掃は事業計画により、原則第一、第三日曜日とし作業開始は午前六時三〇分で、月により開始時刻は考慮しています。

公園は(1)幼い子供とお母さんが他の子供達と「公園デビュー」する場(2)大人同士のコミュニケーションの場(3)夏祭り・防災訓練・粗大ゴミ集団回収・ラジオ体操(夏季)等、多様に活用されています。

特に自然災害・都市火災がいつ起こるかわかりません。万一、現実には置き換えられた場合、自主防災会活動でも一時避難場所として災害直後の情報や救援拠点として公園の役割は大変重要です。

松前公園は当地域の「宝もの」の空間ですので、今後も行政・自治会・利用者等の連係で、日常的

に遊具の点検や樹木の手入れ、砂場の衛生管理等を継続して、安心して利用できるよう努めていきたいと思っています。



一年間の清掃活動

千代田町

広瀬川緑道愛護会

監事 狩野 勝義

私達の愛護会は、六月から十二月の間月一回の清掃を実施しており特に十一月と十二月は、落葉の最盛期なので、月二回清掃を行い多い時は、大袋に四十五袋程の量と成ります。

担当区間は、柳橋より雷神橋の間ですが、五月に入るとケヤキ、ヤナギ、モミジの新緑は見事です。その他ツバキ、サザンカも咲き緑道を飾ってくれます。

公園管理事務所の事業により平成二十三年に、緑道の改修と合せてトイレも新築し、その一部に清掃用具の保管スペースも設けて頂き会員一同喜んで居ります。

また、今年中には防犯対策としてトイレ付近に、防犯カメラの設置計画もあり、より安全安心な緑道と成り利用者には、良き癒しの緑道として親しんで貰える事と確

信をして居ります。町内でも広場を利用し交流の場、地域づくりにも役立つ緑道として活用させて頂きます。

今後とも公園管理事務所の御指導、御支援の程よろしくお願い申し上げます。



川曲町緑地公園愛護会

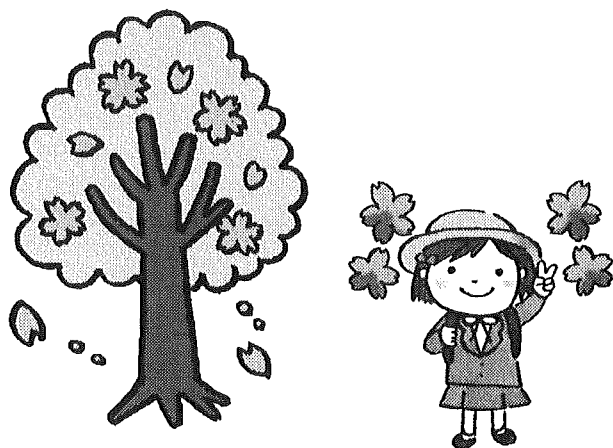
会長 唐沢 泰夫

私たちの緑地公園に樹齢四十数年の巨木の桜が十一本有り毎年こぼれんばかりの花を見せてくれます。毎年数センチの枝を伸ばし幹木を太らせて、桜様も来年はもっと大きくなって見事な花を見せましよう、成長しています。

公園を管理する私たちはただ「きれいだね」「見事だね」と言うだけで何の手助けもできず、うろたえるだけ。せめて、出来ることは桜様が十分に、枝を伸ばし幹を太らせるように周りの環境作りをしてやるだけです。自然環境は、少しでも管理の手を休めれば、雑草は生い茂り害虫が発生して、桜の葉草花を食い荒らして枯らす怖れがあります。年に数回桜木の上を見て、害虫が発生して居ないか確認したり、同時に雑草の除草も行います。良い環境を維持して居れば公園を訪れる人達も心を癒されると思います。

緑地公園の桜

私たちの緑地愛護会も高齢化が進み公園管理も不安になってきました。これからは公園を管理維持する若い人達を育てて行きたいと努力致したいと思っています。



愛護会活動について

コスモス公園愛護会

会長 巻島 豊和

上小出町に住んで五年、昨年四月から会長を務めることになりました。

当公園は上小出町の三丁目にあり、すぐ北は荒牧町。群馬テレビの西、ご存知のK魚類の南にあります。

愛護会の活動は、公園の除草作業が主な活動になっています。四月から九月まで毎月一回、自治会の指定日に全町一斉に行われ、おかげさまで、毎回百人以上の方々のご協力を頂いております。

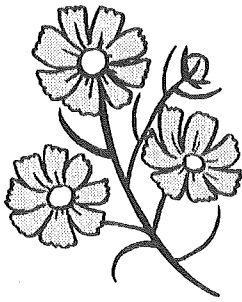
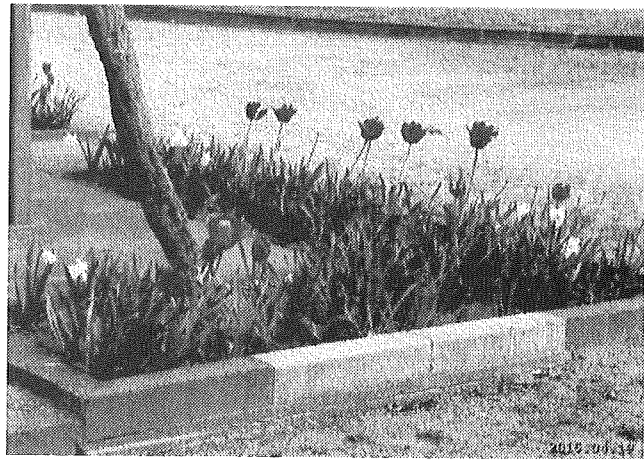
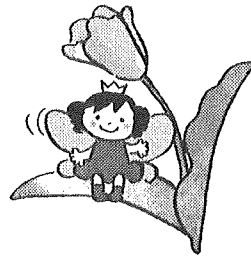
園内には子供用の遊具、滑り台、鉄棒、ブランコ、そしてジャングルジムなどが設置されています。

広場は、以前はゲートボールに利用されていたようですが、最近では利用されなくなり、雑草が目立つようになりました。

昨年は、藤棚の周りの花壇に、チューリップの球根を植えたところ、白い水仙の後に、赤と黄色のチューリップと、紫の藤が咲き、

公園を彩りました。

これからも地域の人々と協力して、整備していきたいと思っています。



上増田公園活動状況

上増田愛護会

会長 村山 勝利

上増田町地区の公園は、桃の木川東部田園地帯に工業団地「二十社」があり隣接して設置されております。

この公園は前橋市公園管理事務所のもとに上増田町自治会が年間とおして維持管理を委託されております。以後自治会役員が主となつて年間をとおして各地区組の協議員、班長、老人クラブ、育成会、生涯学習の諸団体の方々が五月より十一月までそれぞれ分担し、清掃、草刈り等実施しております。夏場の七、八月は大変暑い中、特に雑草も伸びが早い時季であり、秋になりますと木々の落葉が日増しに園内を覆う状況となります。年末になりますと周囲の垣根や樹木、藤棚の剪定を作業の最後となり、新たな年を迎えることになります。

最後に公園を利用される方々、地域の皆さんの憩いの場としても

我が地区の公園も引続いていききたいと思ひます。

.....

公園で見る『夢』



天川原中央公園愛護会

会員 中村 寛

大きな二子山やフィットネスサーキット等を持つ公園が出来て早や九年目。すでに何度か、この「みどりのひろば」で報告させていただいていますが、その活動は今、会員の方々の努力と、寺沢会長、川田花壇の会代表の御二人の誠意とリーダーシップのもとで、更に活発化し、進化しています。

『定例の清掃と花の手入れは、月一回の自主参加だが、町内挙げて取り組んでいる有価物回収作業も同時に行われていて、更に自治会

行事の夏祭り、防災訓練等々は公園と自治会館の正門が道をはさんで向いあつていていることもあつてうまくコラボし、これ以上はないほどの一体感を醸成している。

愛護会独自には、お花見・他の公園の日帰り視察・時々の食事を等を実施している。この一見、公園管理の苦勞を癒すための集まりとも見える会合が、単なる楽しみだけのものではないと思えてきた。そこでの体験や会話を重ねて行くことは、突発する非常災害への対応でも「適確でまとまりのある行動が出来る訓練」にもなっていると考えられ、他の行事でも「参加し経験すること全て防災訓練」につながっているのでは、と。

松の内そんなことを考えていたら「オリンピックのための新国立競技場のトラックの色が青色になるのでは」との報道があったことを思いだした。当公園も市の配慮で一周二七〇米の遊歩道があり、この歩道も「青色」だ。だとすればいつも元気に、時には母親が悲鳴をあげるほどの冒険好きで青色にも馴染んでいる、この子供達の中からオリンピックの選手が出てくることも決して夢ではない。そんな力をこの公園とそれを支え、

とりまく人達は持っている。』
そんな夢を見させてもらいました。

当然ながら愛護会会員は「町内の人全員」が前提になつていて、今年もその活動が続きます。

清掃作業には、いつ参加しても双方が力をもらい、笑顔にもなつて心が豊かになることは確かです。

今後も、更に多くの方々が笑顔になれるよう願っています。



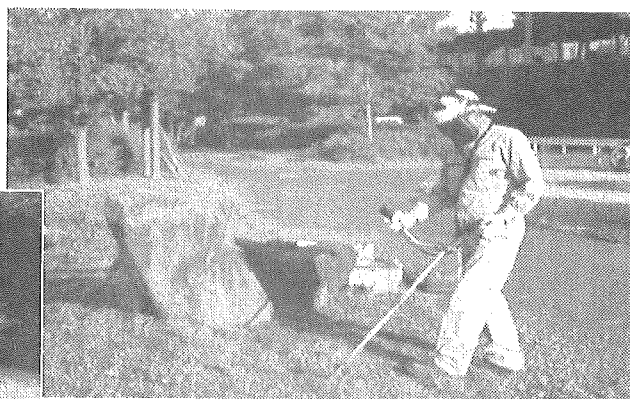
此処に牛池川 緑地在り

牛池川緑地愛護会

会長 村木 健

牛池川緑地は、群馬県の事業で「二級河川牛池川親水護岸整備事業」に依って河川改修工事の産物として誕生した緑地と、元総社三区自治会が群馬県から管理委託され平成十五年に「愛護会」を発足しスタートした。更に、緑地内に幅一メートルの小川を創り、元総社北小学校の児童が、水中生物や水性昆虫を観察し、触れて小川親しむ「水辺の学校」が併設され、牛池川緑地の自然環境への重要性が増した。それに伴って管理体制も変化した。元北小PTAと元北小学校区自治会として、問屋、二区、四区の自治会が加わり、潜在的な愛護会々員は、二、六七〇余世帯を有し年五回の除草作業は朝六時から一時間半で約四千平方メートルの除草を終える。作業を通じて、各地区の問題点、話題等「ダベリ」ながら結構地域の親睦を深める役割をになって居るのも愛護会が成せる業であり、最近では、白鷺や川鵜、カルガモが飛来し目を楽しませて

くれて朝散歩の人が増え、地域の憩いの場と成りつつ在る。



作業状況



作業状況



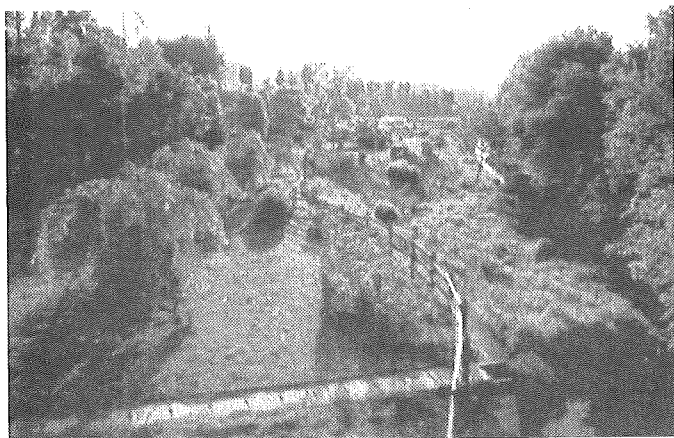
ヘッジトリマー：剪定作業



除草状況



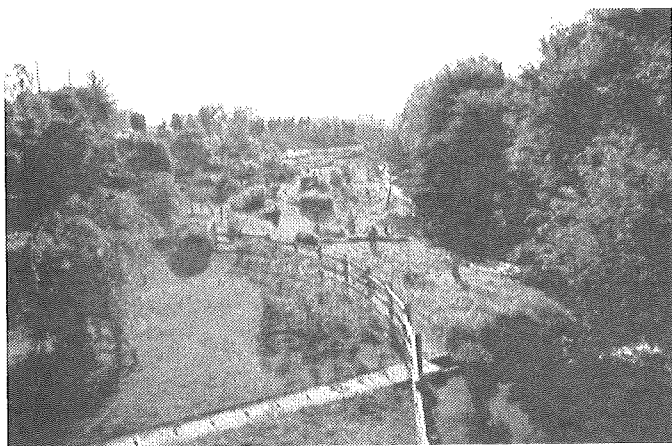
法面の除草



上流端から下流を臨む：着手前



下流端から下流を臨む：着手前



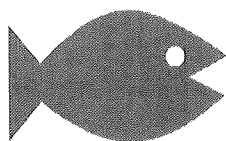
上流端から下流を臨む：除草中



下流端から下流を臨む：除草中



上流端から下流を臨む：完成



下流端から下流を臨む：完成



新しい仲間

新設公園愛護会紹介

平成二十七年(度)前橋市公園緑地愛護会連合会に加入しました。よろしくお願いいたします。

平成二十七年(度)実績 六団体

(前号掲載以降)

下新田町町北公園愛護会

会長 武内 垣衣

下長磯ふれあい公園愛護会

会長 中澤 耕一

平和町ふれあい公園愛護会

会長 小林 節郎

天大ふれあい公園愛護会

会長 君島 賢司

時澤公園愛護会

会長 小平 三雄

中島ボランの広場愛護会

会長 小平 三雄



明るい公園

下三俣公園愛護会

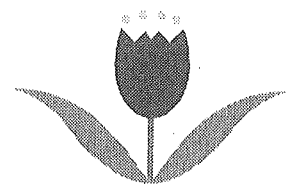
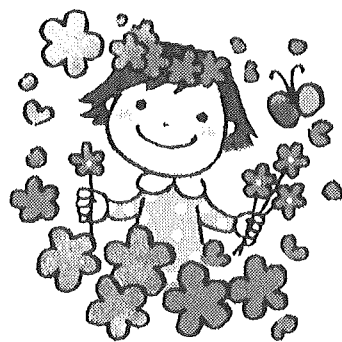
会長 小池 健司

下三俣公園は北側に上毛電鉄が走っていて、お正月の、どんど焼きや、八月の納涼祭もこの公園で一丁目の皆さんと行っています。長寿会のランドゴルフ等でも利用され、子供達や、老人、近隣の人々から愛されています。

主に、各種団体の役員や、長寿会、愛護会などで、枯葉の掃除をしておりますが、みずき中学校の生徒さんや、PTAの方まで清掃を手伝ってくれる事もあり、おかげ様で公園が明るくなり、三本の樺や桜や杉も、市の造園業者様に枝を切っていただき、さっぱりした木になりました。強風のためモッコウバラは根から倒れてしまいました。白のペンキを塗った柵を作りサルビアも三〇本、赤と紫を植え、公園の美化にも努めました。その後、チューリップを二〇〇球植え、この寒さに耐えて

春にどんな花が咲いてくれるか楽しみです。

三俣公園は、明るくて、季節の花が咲いている公園として、地域住民の憩いの場所でありたいと思っております。



編集後記：

はじめに会報「みどりのひろば」第四十号を発行するにあたり、ご多忙の中、原稿や写真をお寄せくださいました方々に厚くお礼申し上げます。全ての原稿を掲載するに当たり原文の一部を修正、簡素化等させていただきましたことをご容赦願います。

会員の皆様には、日ごろより公園の維持管理・美化活動にご尽力いただいておりますが、引き続き、市民力を集結していただき公園、緑地、街路樹の愛護活動にお力添えいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、皆様御承知のとおり、昨年十二月末より公園管理事務所の移転に伴い事務局も六供町へと移転となりましたので、この場を借りて改めてご案内いたします。

また、今まで公園緑地愛護会連合会の会長を務めていただきました立見悟会長様の計報に際しましては、生前、連合会活動等にご尽力いただきましたことに変感謝いたしました。公園緑地愛護会連合会員並びに公園管理事務所職員一同、心よりお悔やみ申し上げます。

